
昔々、遠い国での話

俺

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

昔々、遠い国での話

【著者名】

NZマーク

N1636M

【作者名】

俺

【あらすじ】

序説。

お姫様と王子様のお話です。

これを読んでもあなたはどう思いますか？

昔々、ある国にお姫様とその婚約者の王子様がいました。その人は仲がとても良く國中で誰もその一人の中をどがめる人はいませんでした。

しかしある日、急にお姫様が病気にかかってしまいます。それはとても重い病気。今では薬で治す事が出来ますが、その時に治療法としてあつたのは一つだけ。朝晩とちゃんとした時間に一つずつ卵を食べる事でした。

王子様は治療法を知ると急いで馬にまたがり城を飛び出します。卵を探すためです。しかしその国で卵はとても貴重で王様でさえ、一年に一度食べられるくらいです。

しかし王子様はあきらめず探しします。そしてやっと卵を持つている人を見つけました。

それは異国の旅の若者。隣の國の青年です。しかしその事を王子様は知りません。王子様はその青年に言います。

「その卵を譲ってくれないか? どうしても、それが今必要なんだ」

しかし青年はこう返します。

「これをあげる事はできません。これは僕の帰りの大重要な食糧です。貴方様にどんな状があるか知りませんが、この卵をお渡しする事はできません。」

青年はその話している相手が王子様だと知りません。

王子様はその青年に激怒し殺してしまいます。お姫様の事を侮辱されたと思ったからです。そして卵を奪いそれを持つてお姫様のところに戻ります。

そしてお姫様は無事助かり、一人は幸せに暮らしましたとや。

(後書き)

どうだったでしょう。
これを読んでどう思いましたか?
感想など頂けたら幸いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1636m/>

昔々、遠い国での話

2010年10月11日10時10分発行